



令和5年度 第21号
令和5年8月24日
熊本市立本荘小学校
校長 西川 英臣

夏休みの出来事より② 青少協からうれしいイベント 納涼そうめん流し大会



この楽しそうな雰囲気、とてもいいですね。8月20日（日）の午前中に、本荘小校区青少年健全育成会主催で「そうめん流し&スイカ割り」がありました。

令和2年の春から始まったコロナ禍。ここ3年間は、このような行事は、ほとんど行うことができませんでした。日本国民みんながマスクをし、マスクを着用することが当たり前になり、このような賑やかさは正反対の生活を送ってきたのではなかったでしょうか。それを乗り越えて、ここまでやってきました。

青少協の高廣会長さんは、昨年度も校区の子どもたちとの夏休みラジオ体操を復活させるおつもりで学校に相談に来られました。しかし、ギリギリまで実施する予定だったのですが、ウイルスの感染拡大に配慮して中止をしました。

今年度は、ラジオ体操の代わりにそうめん流しをしたいというご相談を受けました。コロナも明けて約3カ月です。校長としても協力することをお伝えしました。もちろん、多くの人数が集まることになれば、いろいろなりリスクもあります。しかしながら、お祭りや花火大会などいろいろなところで、イベントが行われるようになりました。そんな中、本荘小校区でも、子どもたちが少しでも明るい気持ちになることができるようにという思いで、計画をしてくださったわけです。「どれくらい子どもたちが集まるかなあ」という心配はあったのですが、当日は、予想以上の参加者でした。ご家族で参加されたところも多く、写真のように楽しくすごすことができていました。（裏面へ）

スイカを割る子どもたち、それを見守る地域の方々。楽しいイベントがあると子どもたちは、こんなによい表情をするものです。子どもの学びや成長にかかわる者として、こんなにうれしいこととはありません。今回のソーメン流しの会も、この本荘校区だからできることだと思っています。地域の教育力がある本荘校区って素敵な校区です。

今後、小規模特認校制度やフレンドリーオンラインの関係で校区外から転入してくる子どもたちもいるでしょう。こんな本荘小学校のよさをこれからも発信していきたいと気持ちを新たにしました校長でした。(校長)

校長先生の虫眼鏡 「暑かったけど、楽しかった」



「スイカ、おいしいね」



おいしそうなスイカでした



スイカ割り…どっち向いてる??



割れました!! ♪



ふりかぶって、エイッ!



一撃でした(笑)



地域の方のフォローで



流す側にもなりました



「さあ、食べて、食べて♪」



小さい子も参加していました



「一本だけとれた!」



「まだ来ないのかなあ」



暑かったけど、楽しかったです。